

桜地域ビジョン

ふれあう桜
かがやく桜
すみよい桜



桜小屋上から西側を望む

平成29年3月

桜地域まちづくり協議会・桜地域ビジョン策定委員会

目次

1	ビジョン策定にあたって	3
2	桜地域の変遷と展望	4
3	桜地域まちづくり協議会の発足と事業経過	5
4	住民アンケートから①桜地域の魅力	7
	②桜地域の問題点	8
5	地域ビジョンを進める8つの柱	10
	(1) シンボルは桜	11
	(2) 地域の財産を活かそう	12
	(3) 心がかよいあう地域に	13
	(4) 安全と安心	14
	(5) 人がつながれる場づくり	16
	(6) 環境美化	17
	(7) 健康増進	18
	(8) PR方法の改善	19
○	各種団体等事業計画書参考様式	20
○	参考資料・桜地域ビジョン策定委員会設置要領	21
○	参考資料・桜地域ビジョン策定の経過	23
○	参考資料・桜地域アンケート集計結果	24
○	参考資料・桜地域ビジョン策定委員名簿	38



桜地域コミュニティセンター

1 ビジョン策定にあたって

ふれあう桜 かがやく桜 すみよい桜 こんな地域にしたいと意見が一致しました。根底にあるのは「思いやり」です。平成27年7月、まちづくり協議会は、**近未来の桜地域のあるべき姿**を求めるため、ビジョン策定委員会（委員名別紙通り）を発足させました。委員会では忌憚のない意見交換を行い、平成29年3月答申することが出来ました。

「**なぜここは桜地域なの**」転入者のほとんどが持つ疑問です。昭和37年に伐採された、「軍道の桜」（終戦後は桜通り）を覚えている人も60歳代になりました。昭和24年に開校した小学校は **桜** と命名されましたし、昭和40年の住居表示実施に伴い、桜1丁目から5丁目が生じたのも、これが由来です。住民の多くが、桜に「若き日の郷愁」を感じ、特別な想いを持っており、「**桜並木ここにありき**」の碑は、高齢者の思い出の縁です。

桜小は、それまで西原小・戸祭小に通っていた児童1,169名で開校し、ピーク時の昭和32年は、1,795名のマンモス校となりました。翌33年富士見小開校により児童数は減少、以来年々減少し現在362名です。往時夏休みは、ラジオ体操・球技練習・子供会対抗球技大会で賑わい、家族総出の応援合戦は楽しい見物でした。毎年開催された体育祭の趣向を凝らした応援風景は、秋の風物詩として住民に親しまれ、地域共同体である自治会活動の一大催事として、地域の皆さんが楽しいひと時を共有しました。児童数の減少と、**地域高齢化**は連動し、諸催事の開催に影響が大きく、これからも中心的な課題として考慮していかなければなりません。

ご近所つきあいから始めましょう。何かあった時、一番頼りになるのは**ご近所さん**です。世間話のなかから情報の共有化が図られ、万が一の時適切に対応できますし、道端の立ち話は**空き巣防止**にもなります。ご近所つきあいというささやかな地域共同体の集まりが自治会となり、26自治会が桜地区自治会連合会を形成しています。

あなたがまちづくりの主人公に「より住みよいまちを創るために」と、**アンケート**には多くの課題が例示されました。地域で出来るもの・出来ないものさまざまです。なんでも行政に、の時代は終わりつつあり「**住民が主役**」の時代です。自分たちの力でまちを良くする。自治会が中心となって、決して無理をせず、楽しみながら日常生活の延長での地域活動（ボランティア）を皆ですすめていきましょう。

ビジョンも進化します。このたびは自治会員を対象のアンケートを軸に作成しましたので、自治会未加入の方々のご意見は反映されていません。時がたてば環境も変化します。後日ご意見をお伺いして、ビジョンを地域住民全体のものにします。

委員の皆さま、ご協力ありがとうございました。心から御礼申し上げます。

特に森田事務局長、あなたの努力で予定期限内に取りまとめることが出来ました。能力を高く評価します。お疲れさまでした。

「言うは易く 行うは難し」これから**本番**、みんなで元気に楽しく。

平成29年3月

桜地域ビジョン策定委員会委員長 大場 恒夫

2 桜地域の変遷と展望

1 桜地域の変遷

桜地域は、宇都宮市のほぼ中心部にあります。明治30年代には、大谷までの人車鉄道が敷設され、地域の交通や各地方への大谷石の出荷に使われていたそうです。明治政府の富国強兵政策の一環として、明治40年に軍隊（第十四師団）を誘致しました。宇都宮は一大軍都となり、繁栄しました。桜地域にも輜重隊・騎兵隊（現・作新学院）、野砲隊（現・文星芸術大学附属高等学校）、師団長官舎（現・合同庁舎）、偕行社陸軍将校クラブ（現・桜美公園）、兵器支廠（現・中央公園）などが置かれ、軍都の中樞を成す地域でした。師団司令部（現・栃木医療センター）から野砲連隊（現・宇都宮短期大学附属高等学校）までの間を結ぶ幅員20メートルほどの通称十間道路が、軍用道路として造られました。約2.5キロメートルの道路の両側に約1,000本（諸説あり）の桜が植えられ、見事な桜並木となりました。昭和37年に桜は伐採されましたが、この桜並木が今の桜地域や桜通りの由来となっています。

戦後、占領軍が進駐し、軍の施設はアメリカ兵が駐留しました。その後、兵舎跡地は学校や住宅地に変わりました。市内でも、有数の文教地域といわれるのはそのためです。

地域内はおもに住宅地で、静かな環境です。少子高齢化の波は桜地域にも及んでおり、桜小学校の児童数は少なくなり、高齢者の一人暮らし世帯も増えています。平成28年度の世帯数は、約4,700世帯。6年前と比べると70世帯多くなっています。マンションやアパートも数多く建設され続けていますが、自治会に加入しない世帯も多く、平成28年度自治会加入世帯は2,743世帯で、地域としての一体感が薄くなってきています。

ただ、交通のアクセスもよく大きなスーパー等もあり、中央公園等緑も多く、生活するにはよい地域となっています。

2 桜地域の展望

桜地域には、大通り、栃木街道、鹿沼街道等主要な幹線道路があり、東武宇都宮駅にも近く交通の便がよいため、マンションが多くあり、他地域から桜地域への転入者は増えていくものと思われます。ここで生まれ育った住民との融和が、課題となっていくものと考えられます。

大谷街道、桜通りと道路の拡幅工事が進められ、地域の街並みは変わりつつありますが、住民の意識は変わらず思いやりのある近所付き合いを継続してもらえることを望みます。地域内にいくつもある学校との交流を通して、地域が活性化し文教地域としてより発展していくでしょう。

桜地域のまちづくりについては、これまで培ってきた経験を活かして組織を強化し、創意工夫しながら、誇りの持てる住みよい地域としてさまざまな活動がなされることを期待します。

3 桜地域まちづくり協議会の発足と事業経過

1 まちづくり協議会の発足と拠点施設の変更

- ① 宇都宮市の住民行政の政策転換により、地域づくりは地域住民が主体的に行う。
- ② 平成14年に西公民館が、西生涯学習センターと名称を変更。一角に桜地域団体室が設置され、地域づくりの拠点となる。桜地区各種団体連絡協議会が作られ、自治会を主にそれぞれに活動していた各種団体が連携を図り、協議を重ね桜地区に必要な事業の運営にあたる。
- ③ 平成19年2月それまでの桜地区各種団体連絡協議会から桜地域まちづくり協議会に名称の変更
- ④ 平成21年3月桜地域コミュニティセンター完成。拠点が変更された。
- ⑤ 平成21年4月桜地域コミュニティセンター開設

2 まちづくり協議会の目的と事業内容

- ① 平成19年2月10日、桜地域まちづくり協議会設立
- ② 本協議会の目的とするところは、桜地区の各種団体の連携を深め、地域の発展に貢献することである。
- ③ 本協議会の組織は、桜地区各種団体長、およびそれに準ずる者をもって組織。また、専門知識を有する者等を加えることができる。
- ④ 目的達成のため、次の事業を掲げている。
 - (1)各種団体間の親睦および連携
 - (2)各種団体間および関係諸機関との連携調整
 - (3)地域の発展を図るための調査研修および資料の収集配布
 - (4)その他目的達成に必要な事項

3 これまでの事業経過

年 度	事 業 内 容
平成19年度	① まちづくり協議会の設立 ② 専門部会の組織化 ・総務部会 ・環境部会 ・広報部会 ・福祉部会 ・安全部会 ・生涯学習部会 ③ さくら女性の会設立（6月） ④ 防犯パトロール隊発足 ⑤ 桜地域コミュニティセンター建設準備委員会設立 ⑥ 広報誌「さくら地区だより」年2回発行へ
平成20年度	① 「さくらの今をたずねて」発行 ② 地域文化祭開催（西生涯学習センター合同）

平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 市長を囲む「まちづくり懇談会」開催 ② 桜地域コミュニティセンター完成祝賀会
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 桜地域コミュニティセンター開設 ② 桜地域文化祭開催（桜地域コミュニティセンター）
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① さくらクリーンデー（不法投棄パトロール）開始 ② 桜地域文化祭開催
平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 桜地域文化祭開催
平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 市長を囲む「まちづくり懇談会」開催 ② 鶴田川をきれいにする会「とちぎ環境美化県民運動」功労団体表彰 ③ 桜地域文化祭開催 ④ 地域学講座開催
平成 26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域ビジョン策定についての準備 ② 桜地域文化祭開催 ③ 地域学講座開催
平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域ビジョン策定委員会の設置 ② 桜地区青少年育成会、栃木県警察本部長より功労ボランティア団体表彰 ③ 鶴田川をきれいにする会「宇都宮市もったいない運動市民会議」特別賞 ④ 桜地域文化祭開催 ⑤ 地域学講座開催 ⑥ 地域一斉パトロール開始
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域ビジョンの策定 ② 桜地域文化祭の開催 ③ 地域学講座開催 ④ わんわんパトロール開始

4 住民アンケートから

1 桜地域の魅力

(1) 生活する面で

- ・交通の便がよい（大通り・栃木街道・鹿沼街道等主要幹線道路が通っている）。
- ・バスも頻繁にある。
- ・静かな住宅地が広がっている。
- ・治安が良い。
- ・風水害など災害が少ない。
- ・小規模医療機関が多い。
- ・銀行や郵便局がけっこうある。
- ・スーパーが多く便利である。
- ・ご近所のつきあい、人間関係がよい。
- ・時間がゆっくり流れている。

(2) 環境面で

- ・中央公園などの公園が多く、緑が豊かである。
- ・ごみステーションなどのマナーがよい。
- ・起伏の少ない地形なので、歩きやすい。
- ・鶴田川や新川、三の沢川が流れていて落ち着く。
- ・市内でも有数の文教地区である。
- ・夏祭りや御輿があり、伝統が守られている。

(3) 桜地域の公共施設や大事にしていきたい文化財

- ・栃木県中央公園
- ・栃木県立博物館
- ・西市民活動センター
- ・桜地域コミュニティセンター
- ・宇都宮地方合同庁舎
- ・財務省関東財務局宇都宮財務事務所
- ・桜通り交番
- ・栃木県障害者職業センター
- ・日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会
- ・観専寺
- ・安養寺
- ・丹堂（あかんどう）
- ・陽西保育園
- ・うめばやし保育園
- ・愛隣幼稚園
- ・作新学院幼稚園
- ・めぐみ幼稚園
- ・宇都宮市立桜小学校
- ・作新学院小学部
- ・宇都宮短期大学附属中学校
- ・文星芸術大学附属中学校
- ・作新学院中等部
- ・宇都宮短期大学附属高等学校
- ・文星芸術大学附属高等学校
- ・作新学院高等学校
- ・宇都宮アート&スポーツ専門学校

2 桜地域の問題点

(1) 地域の人々について

- ① 高齢化が進んでいる。(平成28年12月末日時点65歳以上26.8%〈市全体24.0%〉)
- ② 一人暮らしが1,616世帯と多い(平成22年国勢調査)。
- ③ 独居のお年寄りが増えている。

(2) 桜地域全体、それぞれの自治会のこと

- ① 近所付き合いは希薄になっており、あいさつや立ち話等の関係性しかない人が多数を占めている。
- ② 地域の行事等にも、高齢や忙しいなどを理由に積極的に参加している人は少ない。
- ③ 活動している内容が周知されていない、回覧板がうまく回らないなど自治会活動の不活発さが顕著なところがある。

(3) 地域の事業やイベントへの要望

- ① 高齢者向けのイベントや集まれるところ
- ② 伝統芸能の継続と継承
- ③ 地域全体で集まれるイベント
- ④ 健康に関する講座や催し
- ⑤ 親睦活動

(4) 地域の課題や不安に思っていること

- ① 防犯防災など安全に関すること
- ② 高齢者の増加と健康について
- ③ 高校生の自転車通学に関する事など交通安全に対して
- ④ 犬猫等の飼い主のマナー

(5) 困っていることは

- ① 商店が少なくなり、買い物が不便になった。
- ② 近所付き合いが減った。
- ③ 道路がせまい。高校生の自転車のマナーが悪い。
- ④ 空き家が増えてきた。
- ⑤ ごみ出しのルールが守られていない(特に集合住宅)。

(6) 地域の各種団体や事業について

- ① 知っている人の割合が少ない。
- ② 各団体の情報発信がうまくいっていない。PR不足
- ③ 参加する人が固定化している。

(7) 地域に住んでいることに関して

- ① 地域に活気がない。
- ② 高校が多いので、登下校時に安心して道路を通行できない。
- ③ 転勤で住んでいるだけなので……。

(8) 地域で取り組むべきことは

- ① 環境美化
- ② アパートやマンション住民の自治会加入促進
- ③ 空き家対策
- ④ 狭隘道路解消、道路の整備
- ⑤ 歴史を大事に後世に伝えていくこと
- ⑥ 人材の発掘
- ⑦ 自治会の活性化
- ⑧ 古くから住んでいる人達と新しく住民になった人達との融和
- ⑨ 地域での見守り活動
- ⑩ 防犯灯の整備

(9) 地域活動に望むことは

- ① 支え合い助け合える人間関係の構築
- ② 安全・安心のまちづくり
- ③ 豊かな自然を守り、大切にしていくこと
- ④ 子育てしやすい環境の整備



西一の沢児童公園

5 地域ビジョンを進める8つの柱

地域住民アンケート調査、ビジョン策定委員会での協議を踏まえ、桜地域ビジョン「ふれあう桜 かがやく桜 すみよい桜」を目標に地域づくりに取り組んでいく8つの柱を作りました。

- (1) シンボルは桜
- (2) 地域の財産を活かそう
- (3) 心がかよいあう地域に
- (4) 安全と安心
- (5) 人がつながれる場づくり
- (6) 環境美化
- (7) 健康増進
- (8) PR方法の改善

備考	<ol style="list-style-type: none">1 各項目の設定に当たっては、当該項目の事業を<ol style="list-style-type: none">① 継続事業か新規事業かを踏まえ② どの団体が中心となって③ いつまでに実施するのかを明記した。2 「新規」は、新規事業、「充実」は見直し充実を図る継続事業である。3 A・Bの記載は、「A」は3年以内に事業実施、「B」は10年以内に事業実施とした。
----	---

(1) シンボルは桜

桜地域を理解し誇りのもてる地域となるよう「桜ブランド」の確立を目指します。

1 地域の桜を活かしたまちづくりをしよう

学校の桜・公園の桜・トライアルの桜など桜地域には、桜がたくさんあります。その桜を活かした地域づくりに取り組みます。

〈具体策〉

① 桜マップの作製（新規・A）

- ・地域内にある桜の地図を作り、住民に配布（全戸）し、地域内を知る機会を増やす。ウォーキング大会等の行事にも活用していく。

② 地域カルタの作製（新規・B）

- ・地域の名所・名物等をよんだカルタを作製し、地域を大人も子どもも楽しみながら知る。

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会広報部会

2 シンボルを活かしたまちづくりをしよう

地域の統一カラーを桜色に選定し、一体感を醸成していけるようにします。

〈具体策〉

① お祭り・お花見（新規・A）

② シンボルマーク策定（新規・A）

③ 統一カラーで地域を桜色に（新規・A）

- ・各種団体が活動の際に使う、ブルゾン・帽子・封筒・名刺などの色を桜色に統一していく。

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会

コラム

地域の変遷にも書いたが、昔桜地区にはとてもきれいな軍道の桜並木があり、お花見の時期はサーカス小屋もかかるほどたいそう賑わったそう。

桜地区の‘桜’や桜通りの‘桜’は、軍道の桜並木から由来している。残念ながらアメリカシロヒトリによる虫害と道路拡張に伴い、伐採されてしまった。今回実施した住民アンケートにも書かれていたが、桜並木の復活を望む地域住民はとても多い。

(2) 地域の財産を活かそう

まず、住民が財産。そして地域の歴史を共有し大事にしていくことを目指します。

1 桜地域全体として考えます

地域住民のパワーを活かしたまちづくりを推進していきます。

〈具体策〉

- ① 一戸一役運動（新規・B）
- ② 子どもを対象とした行事等の支援（充実・B）
・知識・技能を次世代に伝えよう
- ③ 御輿を活かしたお祭りの開催（新規・B）
- ④ 桜地域文化祭の開催（充実・A）
- ⑤ 学校との合同催事（新規・B）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会、桜地区自治会連合会、さくら女性の会、
桜地区老人クラブ連合会、桜地区民生委員児童委員協議会

2 それぞれの地区で

各自治会で行われている祭りなどの催事を大切に後世に伝えていきます。

3 地域にある公共施設をもっと活用していこう

地域ならではの活用方法を考えていきます。

〈具体策〉

- ① お知らせや回覧チラシを積極的に周知
- ② 協働による事業の実施（新規・B）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会、桜地区自治会連合会

4 歴史を大事に伝えていきます

地域の歴史に誇りを持ち、共有し次世代に伝えていきます。

〈具体策〉

- ① 「さくら地区だより」に地域の歴史の記事を掲載（充実・A）
- ② 歴史講座の開催（充実・A）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会

(3) 心がかよいあう地域に

人と人の結びつきが深められるような地域を目指します。

1 ご近所つきあいをもう一度はじめましょう。

遠くの親族より近くの他人。困ったときはお互いさまです。心と心がふれあえるような人間関係を築いていきましょう。

〈具体策〉

- ① 笑顔であいさつ運動を展開します。(新規・A)
- ② 敬老会
- ③ ふれあい会食会

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会、桜地区自治会連合会、桜地区社会福祉協議会



桜2丁目交差点のモミの木

(4) 安全と安心

誰もが安心して住める地域を目指します。

1 高齢者のこと

身心ともに元気で生き生き暮らせるよう地域全体で助け合えるまちづくりを目指します。

〈具体策〉

- ① 高齢者や一人暮らしの方の見守り活動（充実・A）
- ② 悩みごと・困りごと相談（新規・B）
- ③ 認知症サポーターを増やそう（新規・A）
- ④ 老人クラブの加入促進（生きがいの持てる実践活動）（充実・A）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会安全安心部会（改称）、桜地区老人クラブ連合会、桜地区民生委員児童委員協議会、桜地区社会福祉協議会

2 子どもの健全育成

地域の子ども達を、健やかに育てる環境を整えていきます。

〈具体策〉

- ① ドッジビー大会・チャレンジランキング大会の開催
- ② スキー教室の開催
- ③ 環境点検
- ④ 公園をきれいにする（充実・A）
- ⑤ 異世代交流（新規・B）
- ⑥ 子育て情報交換（新規・B）
- ⑦ 悩みごと相談（新規・B）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会、さくら女性の会、桜地区老人クラブ連合会、桜地区民生委員児童委員協議会、桜地区青少年育成会

3 交通安全について

歩行者や学生の自転車、車を運転する人のマナーを向上し、事故のない地域を目指します。

〈具体策〉

- ① 毎月8の日の運動
- ② ストップマーク等補修活動
- ③ 交通指導
- ④ 交通安全教室
- ⑤ 下校時・夜間パトロール活動（充実・A）
- ⑥ 一斉パトロール
- ⑦ わんわんパトロール（充実・A）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会安全安心部会、桜地区自治会連合会、桜地区交通安全推進協議会、中央交通安全協会桜支部

4 防犯について

地域住民が安心して暮らせるようなまちづくりを目指します。

〈具体策〉

- ① 空き巣・詐欺にあわないような啓発活動（新規・B）
- ② 防犯灯の整備（充実・B）
- ③ 防犯カメラの設置検討（新規・B）
- ④ 空き家対策

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会安全安心部会、桜地区自治会連合会

5 防災について

みんなで火災を予防し、地震などの災害があっても被害を小さくできる地域を目指します。

〈具体策〉

- ① 防災訓練（充実・A）
- ② 火災予防啓発活動（新規・A）
 - ・消火器の点検、家のまわりに燃えやすいものを置かない等
- ③ 自治会ごとの防災マップ作製（新規・B）
- ④ 地域を支える消防団員を増やしていく（新規・B）

〈実施団体〉

桜地区防災会、桜地区自治会連合会、桜婦人防火クラブ

(5) 人がつながれる場づくり

みんなが顔見知りになれるような地域を目指します。

1 地域みんなが参加しやすいような新しい催事を開催していきます。

人と人がつながれるような催事を考えます。

〈具体策〉

- ① わくわく桜講座
- ② 手芸教室等
- ③ 地域の次の担い手の発掘（新規・B）
- ④ 若い人が多く参加できるようなイベント（新規・B）
- ⑤ 社会福祉協議会がすすめている高齢者のサロンづくり（充実・A）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会いろいろな催しを考える部会（新規立ち上げ）、
さくら女性の会、桜地区社会福祉協議会、桜地区青少年育成会

コラム

地域に誰でも出入り自由なサロンが欲しい。一人でも立ち寄れ、何時間でも居られるような。また、地域独自で管理できるような集会所も必要だ。飲んだり、食べたり、歌ったり、話したり気楽に集まれる場。若者も高齢者も一緒に楽しい時間が持てるような場。面倒くさい手続きもいない場。図書コーナーもあるといい。子ども達が好きなだけ好きな本を読めるように。

高齢化が進み、空き家の増加は、この地域の大きな課題となっている。

そこをサロンや集会所等に、有効活用できるような支援の充実を行政にしてもらいたい。

空き家が自由に使えるならば、そこで駄菓子屋をやって地域の居場所にしたいたいという人がいる。学校から帰ったあとの子どもの居場所にもなり、大人が子どもにもんじゃ焼きの作り方を教え、コマの回し方のコツを話す。子どもは、家族以外の大人との付き合い方を覚えていく。世代間交流が普通にできる場の実現が待ち遠しい。

(6) 環境美化

ごみのないきれいなまちづくりを目指します。

1 自分の家のまわりをきれいにしましょう。

さらなる環境美化に取り組みましょう。

〈具体策〉

- ① ごみステーションの環境美化（充実・A）
- ② さくらクリーンデー（不法投棄パトロール）
- ③ 鶴田川・三の沢川清掃活動
- ④ 河川パトロール
- ⑤ 資源物集団回収の回覧チラシ（充実・A）
・リサイクルの推進

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会環境部会、桜地区自治会連合会、
鶴田川をきれいにする会

2 落ち着いた街並みをつくることを目指します。

緑豊かな自然を大切に、調和のとれたまちづくりをすすめていきます。

〈具体策〉

- ① 花いっぱい運動（新規・A）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会環境部会



(7) 健康増進

地域住民の健康寿命をのばすことを目指します。

1 いつまでも健やかにいられるように

みんなで楽しみながら身体を動かす機会を増やすことを目指します。

〈具体策〉

- ① ハイキング
- ② ウォーキング大会
- ③ グラウンドゴルフ大会
- ④ 輪投げ大会
- ⑤ 身体すまいる講座

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会、桜地区体育協会

2 地域独自の体操をつくり、みんなで行いましょう。

地域のことを歌にして、それに合わせた体操をつくり地域の一体感の醸成を目指します。

〈具体策〉

- ① さくら体操（新規・A）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会



桜美公園

(8) PR方法の改善

催事・行事の周知がきちんとでき、参加者が増大するよう目指します。

1 行事や催し物の参加者を増やしていくために。

周知方法を工夫し、地域住民の知る機会を増やしていくことを目指します。

〈具体策〉

- ① 広報誌「さくら地区だより」の発行（充実・A）
- ② 掲示板の設置（充実・A）
- ③ 回覧チラシの作り方（充実・A）
- ④ 自治会加入促進（充実・B）
- ⑤ マスコミの活用（充実・B）
- ⑥ ホームページ開設等（新規・B）

〈実施団体〉

桜地域まちづくり協議会、桜地区自治会連合会



丹堂（あかん堂）

各種団体等事業計画書

作成年月日 年 月 日

団体名			
代表者名			
10年後の 目指す目標			
具体策	事業項目・事業内容等	新規・充実	A (3年以内実施) B (10年以内実施)
備考			

桜地域ビジョン策定委員会設置要領

(目的)

- 1 桜地域の将来のあるべき姿およびその実現に向けた取組みを検討するため、桜地域ビジョン（以下「地域ビジョン」という）策定委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(構成)

- 1 委員会は、桜地域まちづくり協議会（以下「協議会」という）が設置し、委員は各種団体から推薦された者、学識経験者、その他策定に当たり協議会が必要と認めた者（以下「策定委員」という）で構成する。
- 2 策定委員の任期は2年とする。

(委員長等)

- 1 委員会には、委員長1名、副委員長3名を置く。
- 2 委員長、副委員長は、策定委員の中から互選で選任する。
- 3 委員長は、委員会の運営・統括を行い、副委員長は、委員長の補佐、委員会の進行を行う。

(事務局)

- 1 委員会には事務局を置き、事務局長は委員長が選任する。
- 2 事務局長は事務を掌る。
- 3 事務局には若干名の事務局員を置く。
- 4 事務局は桜地域コミュニティセンター（宇都宮市桜3丁目2-22）内に置く。

(業務)

- 1 策定委員は、地域ビジョンの策定にあたり、次の業務を行う。
 - (1) 地域の意見等の取りまとめ
 - (2) 将来の構想および計画づくり
 - (3) 地域まちづくりへの提言
 - (4) その他目的達成のための必要な事項

(情報共有)

- 1 策定委員会は、地域ビジョン策定にあたり、地域住民への趣旨のPR、各種団体との調整を行うとともに、情報を共有し円滑な業務遂行に努める。

(会 議)

- 1 策定委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 2 委員長が必要と認めるときは、協議会役員および委員以外の者を会議に出席させ、説明もしくは報告または意見を求めることができる。
- 3 策定委員会における経過および結果については、協議会役員会等において報告する。

(情報公開)

- 1 地域ビジョンの策定業務の進行状況等については、原則として公表するものとする。

(その他)

- 1 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、平成27年7月9日から施行する。



日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会

桜地域ビジョン策定の経過

平成26年度		平成27年度		平成28年度	
月	取組内容	月	取組内容	月	取組内容
4		4		4	20 第1回策定委員会 27 第1回三役会
5		5		5	19 第2回策定委員会 28 第2回三役会
6		6		6	18 第3回三役会 25 第3回策定委員会
7		7	9 第1回策定委員会 (委員会発足)	7	9 第4回策定委員会 16 第4回三役会 21 第5回三役会 28 第6回三役会
8		8	6 第2回策定委員会	8	4 第5回策定委員会 10 第7回三役会 26 第8回三役会
9		9	24 第1回三役会	9	1 第6回策定委員会 10 第9回三役会 17 第10回三役会 30 第7回策定委員会
10		10	10 第2回三役会	10	8 第11回三役会 22 第8回策定委員会 29 第12回三役会
11		11	18 第3回三役会	11	17 第13回三役会 19 第9回策定委員会
12		12	5 第3回策定委員会 さくら地区だよりに発足記事掲載 19 アンケート全戸配布	12	3 第14回三役会 17 第10回策定委員会 24 第15回三役会
1	20 地域ビジョン策定に関する 説明会	1	アンケート締め切り	1	7 第11回策定委員会 14 第16回三役会 21 第17回三役会 28 第12回策定委員会
2		2	アンケート集計 ↓	2	10 第18回三役会 17 第19回三役会 18 第13回策定委員会 25 第20回三役会
3	25 地域ビジョン策定準備 委員会	3	15 第4回三役会 31 第5回三役会	3	2 第14回策定委員会 18 第21回三役会 ビジョン冊子完成

さくら地区だよりに途中経過報告

※三役会: 委員長・副委員長・事務局長

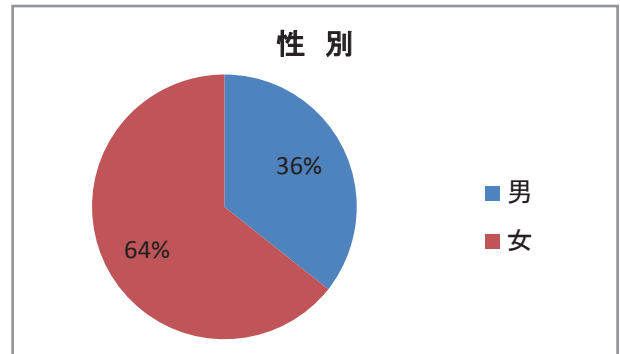
桜地域アンケート集計結果

単位：人

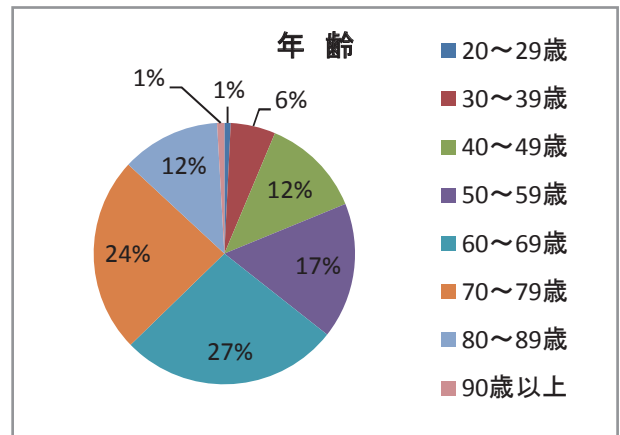
回収数 1,189
世帯数 2,753 回収率 43%

基本状況

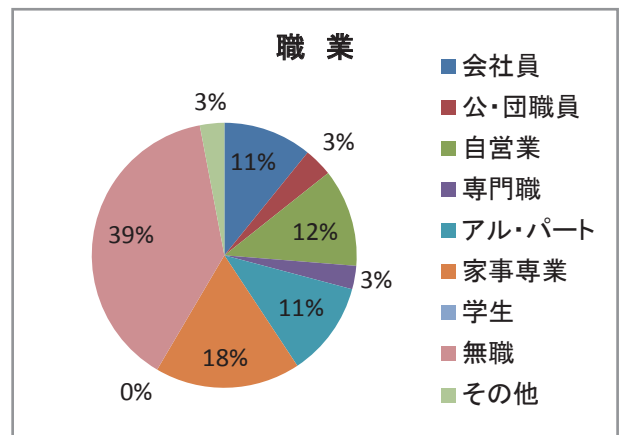
1、あなたの性別

男 402
女 725

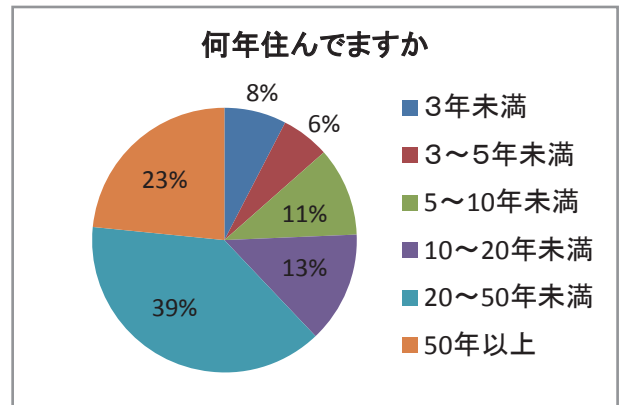
2、あなたの年齢は

20～29歳 9
30～39歳 63
40～49歳 142
50～59歳 191
60～69歳 308
70～79歳 275
80～89歳 139
90歳以上 10

3、あなたの職業は

会社員 113
公・団職員 36
自営業 124
専門職 30
アル・パート 120
家事専業 185
学生 0
無職 401
その他 31
・家事手伝い ・サービス業
・臨時嘱託員 ・生活保護
・会社役員 ・派遣員
・NPO従事 ・看護師 ・介護士
・私学教員 ・ヨガインストラクター
・企業相談役 ・一級建築士
・年金生活 ・主婦 ・介護

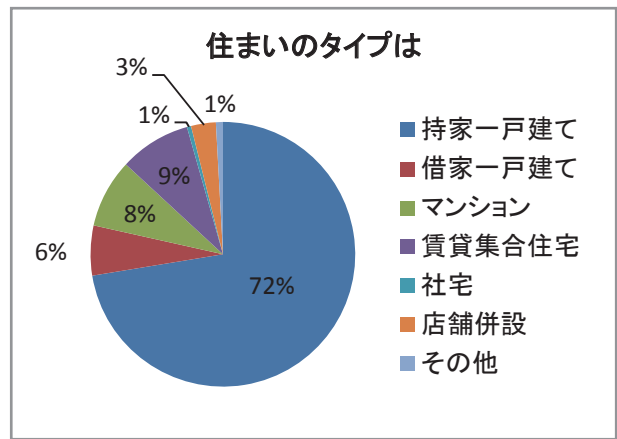
4、現在地に何年住んでいますか

3年未満 89
3～5年未満 69
5～10年未満 127
10～20年未満 159
20～50年未満 453
50年以上 274

5、住まいのタイプは

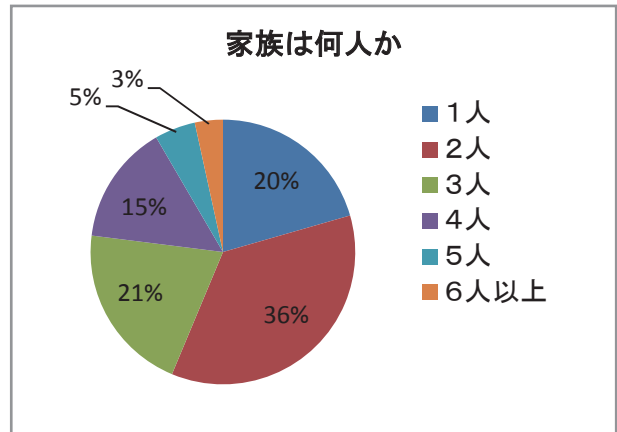
持家一戸建て	845
借家一戸建て	71
マンション	98
賃貸集合住宅	102
社宅	6
店舗併設	35
その他	10

- ・兄所有一戸建て
- ・店舗物件(住んでいない)
- ・県営住宅



6、何人でお住まいか

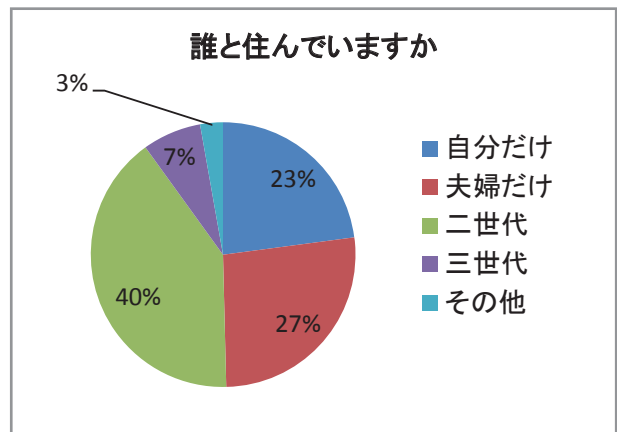
1人	240
2人	418
3人	242
4人	171
5人	58
6人以上	40



7、誰と住んでいますか

自分だけ	278
夫婦だけ	324
二世帯	490
三世帯	87
その他	34

- ・私と孫
- ・夫婦と姉
- ・弟と2人
- ・兄妹
- ・夫婦、妹
- ・いとこ
- ・義兄と自分
- ・夫婦と子ども2名と姉
- ・婚約者
- ・四世代

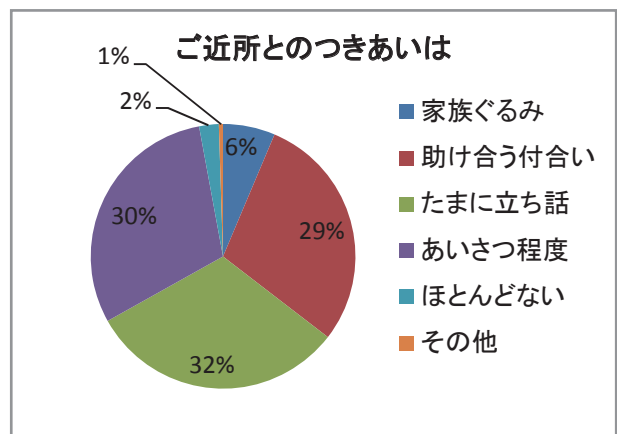


地域について

問1、近所づきあいはどの程度ですか

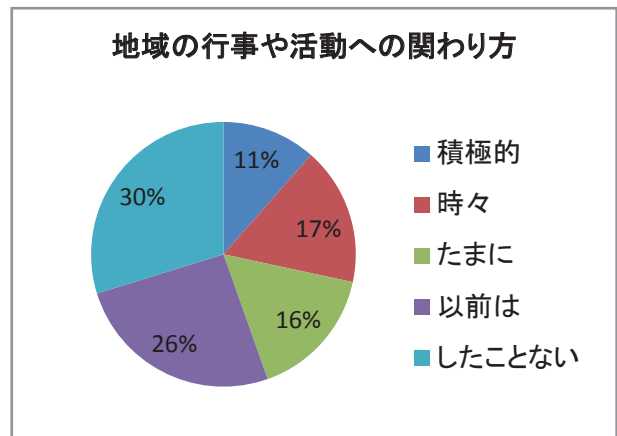
家族ぐるみ	74
助け合う付き合い	338
たまに立ち話	365
あいさつ程度	351
ほとんどない	28
その他	6

- ・月1回の清掃活動参加
- ・おすそわけをしたりすることもある(たまに)
- ・立ち話とあいさつ程度の感じ
- ・子供を通じてのつきあい
- ・子供同士や母と子が多い



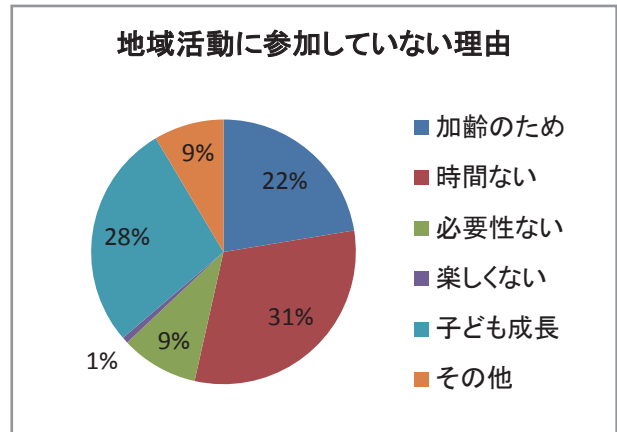
問2、地域の行事・活動への関わり方

積極的	139
時々	204
たまに	196
以前は	310
したことない	360



問2-A 地域活動に参加していない理由は

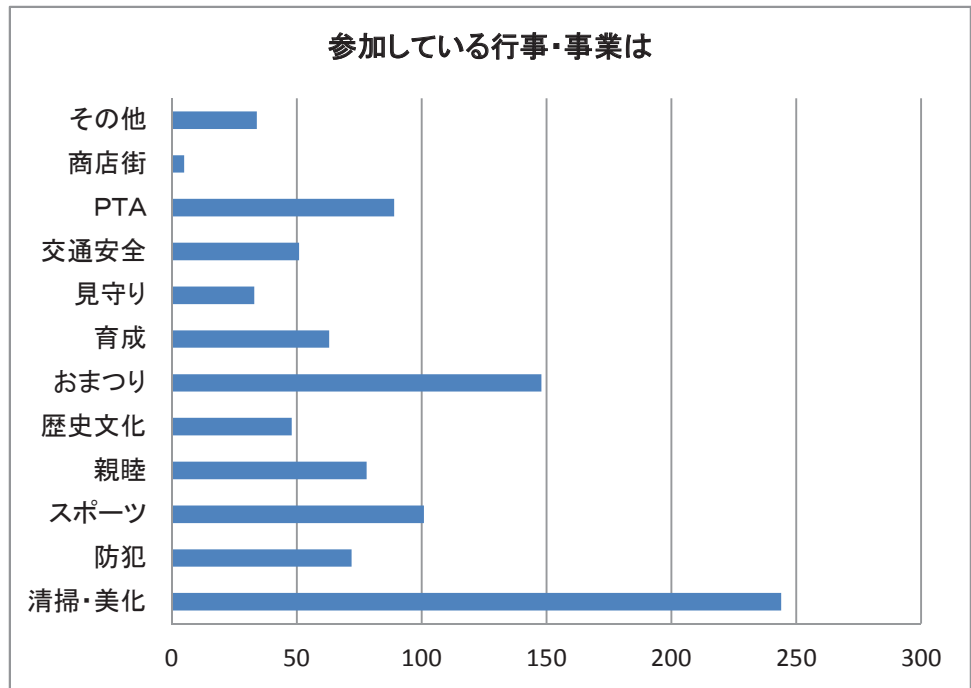
加齢のため	147
時間ない	204
必要性ない	62
楽しくない	5
子ども成長	182
その他	56



- ・自分に興味ある行事でない。
- ・きっかけがない。
- ・活動内容がよくわからない。
- ・行事がない。
- ・特に理由はない。
- ・子どもが小さくて参加するのが大変
- ・住み始めて間もない。
- ・病気のため。
- ・自身の入退院、家族の介護。
- ・地区外に住んでいた(子供養育時)
- ・参加したいと考えているが、どうしてよいかわからない。時間が合わないことも多い。近所の皆さんに聞けばよいとは思っていますが・・・。
- ・自治会が何の活動もしていない(一斉清掃を含め)。
- ・子供のスポーツ活動に携わっているため。
- ・サービス業なので土日休みではないため。
- ・子供が地域外の学校に就学していたため、転居して以来そちらの地域の行事に参加していたため。今後は少しずつ参加していきたい。
- ・積極的でない。
- ・以前から同じ班の人達もほとんど参加しないので。
- ・なじみがない。回覧が来るころには、終わっている。
- ・コミセンを利用したいが、身近に参加したいものがない。窓口を広げていただきたい。
- ・必要とするものを他で見つけました。
- ・毎月1回の公園の掃除
- ・参加しづらい。
- ・健康増進には必要と思う
- ・参加が長くなって、上の役員になるようお願いされると、時間と収入差がつかなくなりそれも理由になっている。
- ・参加できる行事がない。
- ・引っ越してきて活動がわからない。子どももいないため。
- ・企業のイベント優先
- ・高齢のため歩行が車椅子
- ・参加の呼びかけ不足か。
- ・なんとなく
- ・体力不足のため現在参加しておりません。係の方々に申し訳ないと思っております。
- ・班長のとき
- ・さそいがないから。
- ・育成会のようなものがない。地域の学校に通っていない。

問2-B 参加している自治会の行事や活動は

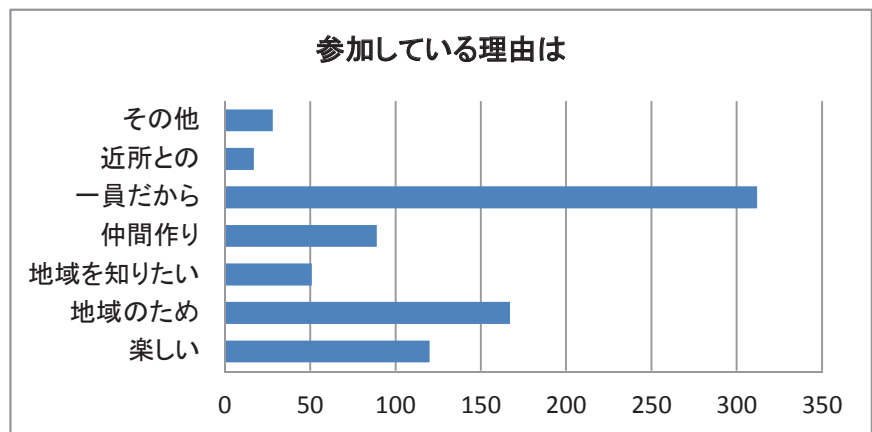
清掃・美化	244
防犯	72
スポーツ	101
親睦	78
歴史文化	48
おまつり	148
育成	63
見守り	33
交通安全	51
PTA	89
商店街	5
その他	34



- ・防災訓練
- ・懇親会
- ・ふれあい会食会
- ・町内会の行事等
- ・防災訓練
- ・旅行
- ・老人会の活動
- ・観劇
- ・地域団体
- ・自治会活動
- ・炊き出し訓練、花見会
- ・コミュニティセンター主催事業
- ・マンションの自治会活動
- ・地域文化祭
- ・福祉活動
- ・高齢者向け学習講座
- ・ボランティア
- ・グラウンドゴルフ
- ・年一度の親睦会
- ・地域包括支援センターの介護研修
- ・運動会、文化祭、敬老会

問2-C なぜ参加していますか

楽しい	120
地域のため	167
地域を知りたい	51
仲間作り	89
一員だから	312
近所との	17
その他	28



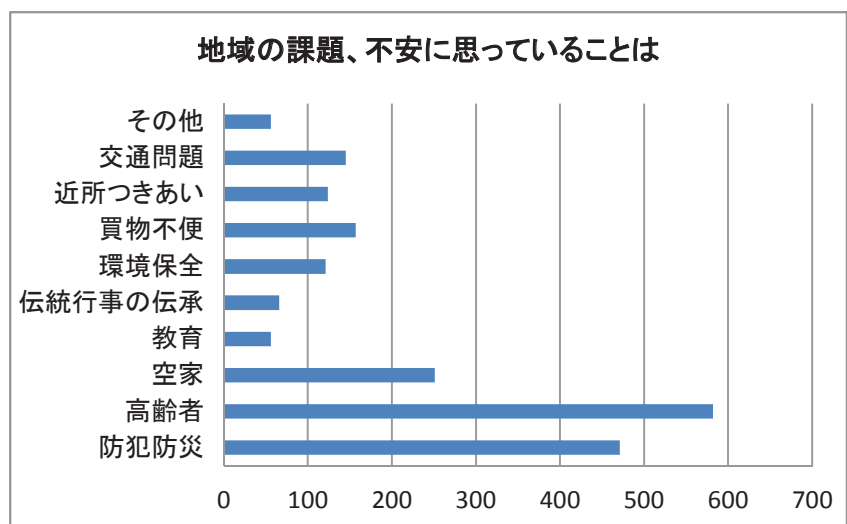
- ・健康のため。
- ・指導員なので。
- ・子供に参加させたい。
- ・孫がくるので見に行きます。
- ・招待されたため。
- ・学校行事なので。
- ・興味がある事のみ参加
- ・罰金制のため。清掃会
- ・それだけしか参加できるものがない。
- ・自治会長さんの呼びかけによる。
- ・回覧板の内容で、など。
- ・学校のPTA活動は義務だから。
- ・役員をやっているため。
- ・自分の子供たちも、子供のころ地域にお世話になったから。

問3、地域の行事やイベントへの要望等

- ・子ども会の同窓会
- ・ボランティアをしつつ地域貢献できて、仲間と楽しめること。
- ・ゴルフ大会等を希望する。
- ・一年に一度あるいは二年に一度、地域のおまつり。桜美公園で催してもらいたい。
- ・自治会内の集まり、あるいは旅行(日帰り)
- ・バザー、フリーマーケット・朝市
- ・障害者、児の参加活動、スポーツ
- ・年に一度の忘年会でも、近所となりの結びつきをよくするため、カラオケ等でみんなで楽しんだらどうか？
- ・赤ちゃんの参加できるイベント
- ・老人にとって手を動かしたりして出来るものをしてほしいです。あみもの教室などです。
- ・たとえば健康に関する講演会とか、楽しい音楽会など。
- ・大谷街道の一の沢から鹿沼街道あたりに、ちょっとしたあそび場があったらよいと思います。
- ・何を行うか？も重要であるが、推進する方法等、検討すべき。特に、若者達が活動できるようにするべき。
- ・地域のおまつりなどのイベントをふやしてほしい。
- ・料理教室・卓球
- ・生涯学習活動、一年間シリーズでのイベント
- ・体を使った楽しい運動のプログラム(ヨガ、卓球など)
- ・いろいろな分野での講演会。コント、お笑い大会(有名タレントでなくてもよいので)楽しめる興行などが良いと思うのでいろいろとやってほしいです。
- ・若い人向けの行事が少ないと思います。ボーリング大会など良いかと思います。
- ・体育祭的行事
- ・高齢者向けの趣味の集い(写経、ペン習字など)や県内で日帰りで行ける寺社参りなど年間を通してやっていただけたらぜひ参加したい。
- ・小さな子供がいるので、親子で参加できるイベントを増やしてほしい。特に、自然に触れ合うことや集団で行うレクリエーションなど普段母子では出来ないことを地域のイベントで子供に体験させたい。
- ・無料パソコン教室
- ・自治会の皆に関するテーマを挙げて、自由参加のお茶会兼討論会などがあると嬉しいです。(例えば、在宅介護を支援する制度など)
- ・まちづくり、地域づくりなどに関するミーティング、意見交換会など。
- ・現在残っている地域の歴史や伝統文化を継承、活用するための地域ぐるみの活動
- ・芋煮会的なもの。不在宅地の環境整備事業(除草など)
- ・自治会役員が先に立って、公園の草取りなど清掃(班からでる)。簡単な運動…輪投げなど、集まる機会をつくりコミを図る。ゴミステーションの当番制
- ・ゴミの出し方についての説明会等
- ・火の用心・食事会・さくらセミナー・碁・おもちつき・コーラス
- ・健康に関する楽しみながらやれる活動・班ごとの顔合わせをする。
- ・三の沢川をきれいにする会を、鶴田川をきれいにする会と同じレベルで対応して欲しい。
- ・そば打ちなど、その後皆で食べワイワイやって楽しくなること。
- ・ラジオ体操・ミニマラソン
- ・伝統芸能の継続と継承・新規イベントの創出 — 老若男女の協調・協力が必須
- ・マンション内の親睦を深められるもの。

問4、地域の課題や自身の不安は

防犯防災	471
高齢者	582
空家	251
教育	56
伝統行事の伝承	66
環境保全	121
買物不便	157
近所つきあい	124
交通問題	145
その他	56
・人口減	
・地域活動と学区の問題 (桜小以外の小学校に通学している ので地域の行事に不参加)	

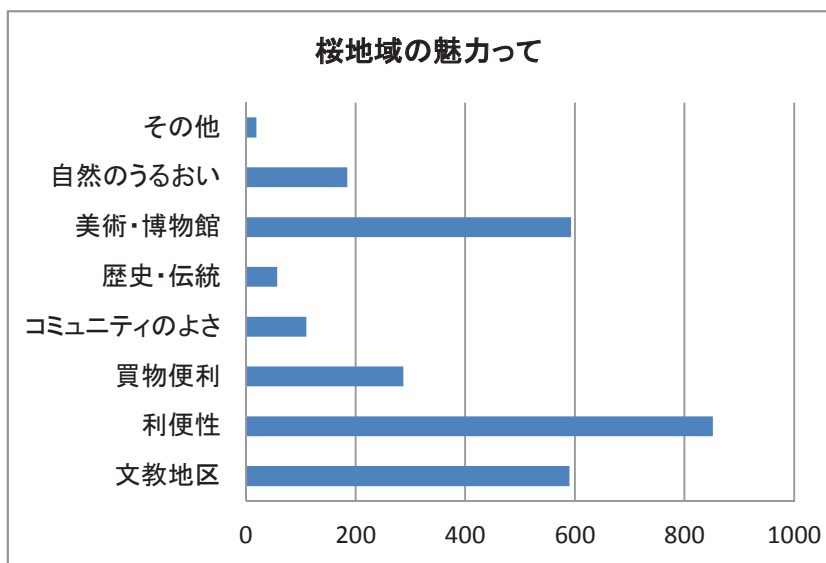


- 多し。桜小以外には参加している)
- ・学生の自転車が危ない。
- ・外灯
- ・交通問題に関する整備
(道路幅の再考)
- ・自転車用側道があってもよいのではないのでしょうか。
- ・空家の植木(大木)の放置
- ・ゴミ収集ステーションのマナー違反 ・ゴミ出しのルール違反
- ・桜公園の枯葉対策を行政・自治体でも実施してほしい。地元だけでは、対応不能です。
- ・スーパーが近くにあると便利
- ・一人暮らしなので、健康に不安
- ・老人会活動
- ・集会所が必要
- ・子ども会が減った。
- ・防犯灯の管理、LEDの費用のこと
- ・一人暮らしで近所付き合いの無い方
- ・生け垣など、人の通行に迷惑をかけている方(刈り込まない)。
- ・路駐、犬猫の放し飼い
- ・近くにスーパーなどがなくなって買物が大変。買物の帰りは重たいものを持つのが大変です。タクシー使用が多くなる。
- ・タバコのポイ捨て・犬の糞尿
- ・バス停利用が不便になった。
- ・朝夕の高校生の通学時の自転車問題
- ・野鳥のあまりの多さに困ってます。

問5、桜地域の魅力ってなに

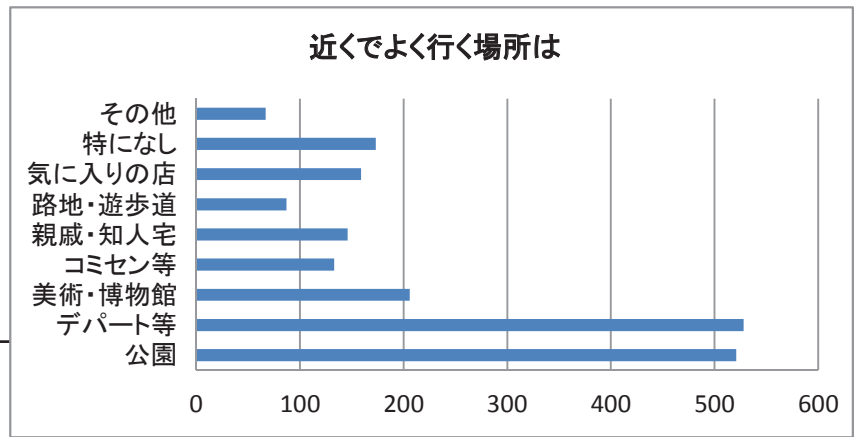
文教地区	590
利便性	852
買物便利	287
コミュニティのよさ	110
歴史・伝統	57
美術・博物館	593
自然のうらおい	185
その他	19

- ・水はけがよい。
- ・静かで落ち着いて暮らせる。
- ・この町会は、皆様の人柄がよい。
- ・通勤用のバスが本数多くて助かる。
- ・昔は便利だった。
- ・中央公園も魅力
- ・静かで住みやすい。
- ・高層建築物がそれほど多くない。
- ・生まれ育った地域に戻ってきたのでとても安心です。
- ・浸水などの自然災害が少ない。
- ・大通りがあるわりに住宅近辺は静かである。
- ・美化活動が活発
- ・護国神社等近くにあるため緑が多い。
- ・自然災害が無く、起伏が少なく老人に住み良い。
- ・ご近所の方が親切です。
- ・お年寄りが元気である。
- ・あまり間は身近ではないように思います。桜地区という名称が良いです。桜の木、藤の木、その他、空地、空家等を再利用して緑豊かな地区になったらと思います。市役所、県とも協力をいただいて。



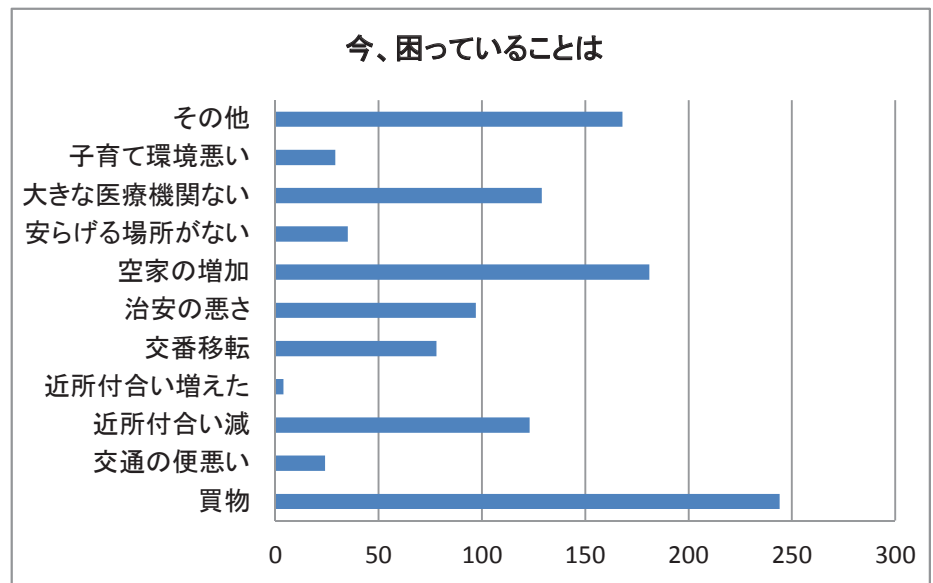
問6、近くでよく行く場所は

公園	521
デパート等	528
美術・博物館	206
コミセン等	133
親戚・知人宅	146
路地・遊歩道	87
気に入りの店	159
特になし	173
その他	67
・コンビニ ・ビッグツリー ・スーパー	
・美容室 ・お隣	
・ビデオレンタル店 ・直売所	
・学校や運動公園のグラウンド	
・ゲームセンター、パチンコ店 ・郵便局、各金融機関 ・図書館 ・本屋 ・寺 ・テニスコート	
・自転車で通りやすい道路(歩くのが苦痛になり運動のため)	



問7、困っていることは

買物	244
交通の便悪い	24
近所付き合い減	123
近所付き合い増えた	4
交番移転	78
治安の悪さ	97
空家の増加	181
安らげる場所がない	35
大きな医療機関ない	129
子育て環境悪い	29
その他	168



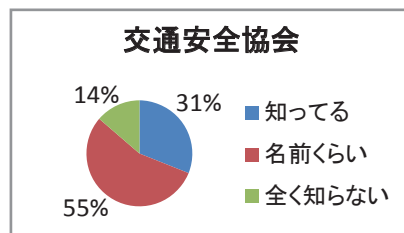
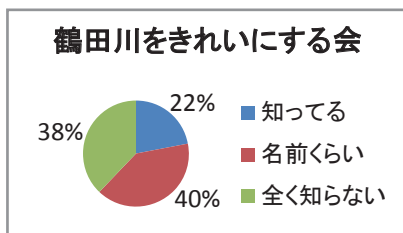
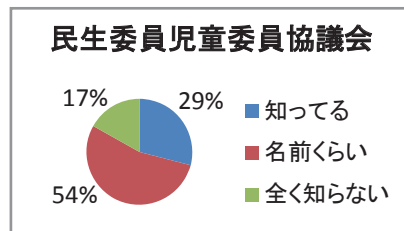
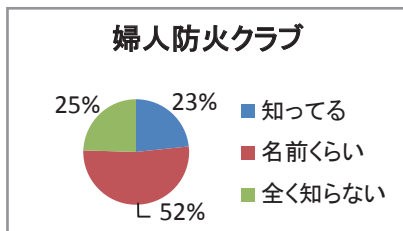
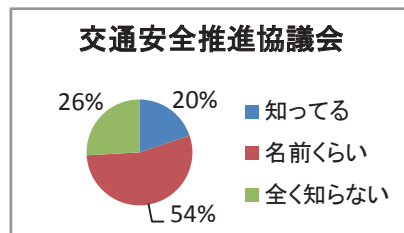
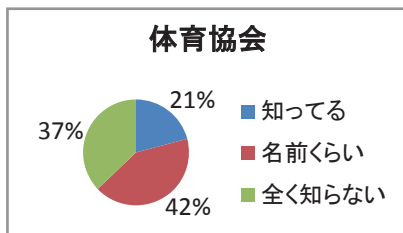
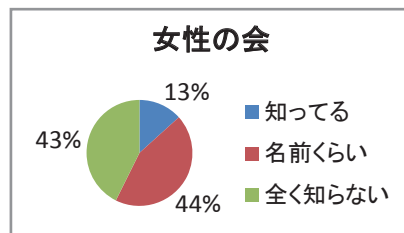
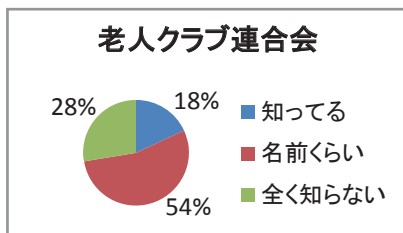
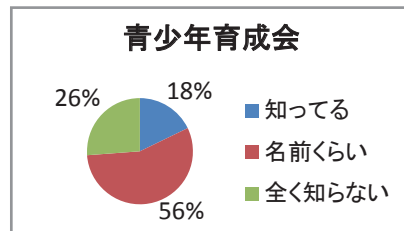
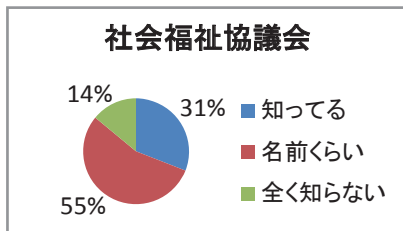
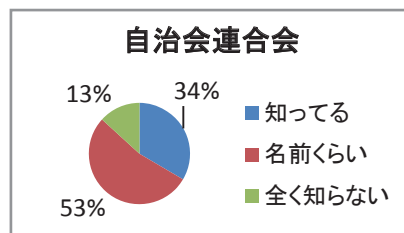
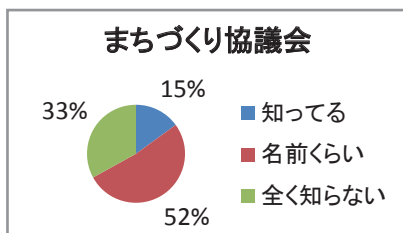
- ・商店の減少
- ・物がなくなる。(自転車他)
- ・近所付き合いがしたい。
- ・道路がせまい。
- ・歩道の水たまり

- ・夜間診療 ・自治会をやめたい ・深夜に買い物をする所がない。
- ・ゴミステーションのルール、マナー違反をする者がいる。
- ・いろいろなことにあまり便利性が感じられない。発展的に感じられない。
- ・道路の安全性が悪い(赤信号で通行する車など) ・交通マナーの悪さ(速度) ・交通渋滞
- ・住宅街だからか、お年寄りが道の真ん中を歩き、よけない。クラクションを鳴らしても車が通れるほどよけない。
- ・アパートの管理が悪い(路上駐車、ゴミの散乱)。
- ・自転車のマナー(高校生) 走行の仕方、ゴミの投げ捨てなど。
- ・安価で食事が出るお店がない ・年金暮らしなので、生活が困難
- ・行事に参加する人が減った。自治会への加入減。 ・知らない人がふえた。
- ・スズメバチが多い。 ・近所の高齢者の増加
- ・年をとってでかける事が億劫になりタクシー代がかさむ事
- ・子ども達との触れ合いが近隣でない。困っているよりさみしいネ。
- ・高齢者一人住いが多くなると、助け合いが出来なくなる。
- ・近所の騒音に困っている。 ・コンビニが近くにほしい。
- ・班の人数(軒数)が少なくなり、班長の仕事がすぐに回ってくる。
- ・住人が少なくなったこと ・複数の建物がなくなり目印が減った。
- ・隣にマンションが建てられ日が当たらない。
- ・日用品、雑貨品など自転車で行くのが少なくなった(転倒)。
- ・大通りでの車(特にオートバイ)の音がうるさい。 ・交番が呼んでもすぐ来ない。
- ・空家ではなく、一人暮らしのお宅の庭がかなり荒れ放題で、周囲の人達もいろいろな面で不安に思っている。
- ・保育園などの騒音、車の出入りの混雑
- 道が細い。ビッグツリー駐車場の車の出入りで、子どもの帰宅時など危険を感じる。休日など、車がスムーズに出られない時が多い。
- 生け垣など庭木の管理不備な所に粗大ゴミを捨てて行く人がいる。

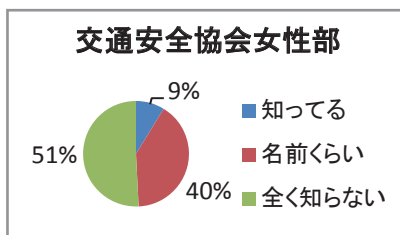
- ・近所つきあいがいないために、いろいろな行事に個人的に行けるようにならない。参加しやすいような方法はないのか？
- ・自転車の学生がとても多いので、小さな子供を連れていたりベビーカーを押して外出している時、あるいは、子供だけ外出させた時、つい事故はないかと心配になってしまいます。
- ・コミセンを利用したいが、希望のものが無い。
- ・犬の散歩をする人で犬の糞の始末をしない、非常識な人間がいる。これって罰せられますよね。犬の尿も電柱、作新学院の塀に何か所もしてあり、大変汚く、気持ち悪い。飼い主のマナーが問われる問題です。
- ・街灯の適切な設置(暗く怖い)。犬、猫の糞害
- ・郵便ポストが遠い。大谷街道には、桜郵便局か駒生郵便局までポストなし。
- ・公園で高校生が集まっている時間があり、さわがしくふざけている時はこわい。車停止でおむかえしているのも、危なくてこわい。
- ・旧鹿沼街道の歩道の歩きにくさ。・自治会費を払いたくないという人の対応
- ・傷害事件があったアパートの人が引越さないし、いつ帰ってくるかわからないから不安

問8、地域団体知ってますか

地域団体	知ってる	名前くらい	全く知らない
まちづくり協議会	128	442	281
自治会連合会	318	505	126
社会福祉協議会	285	508	129
青少年育成会	151	475	222
老人クラブ連合会	158	472	241
女性の会	114	377	365
体育協会	178	359	317
交通安全推進協議会	170	466	222
婦人防火クラブ	207	462	217
民生委員児童委員協議会	263	490	153
鶴田川をきれいにする会	195	355	336

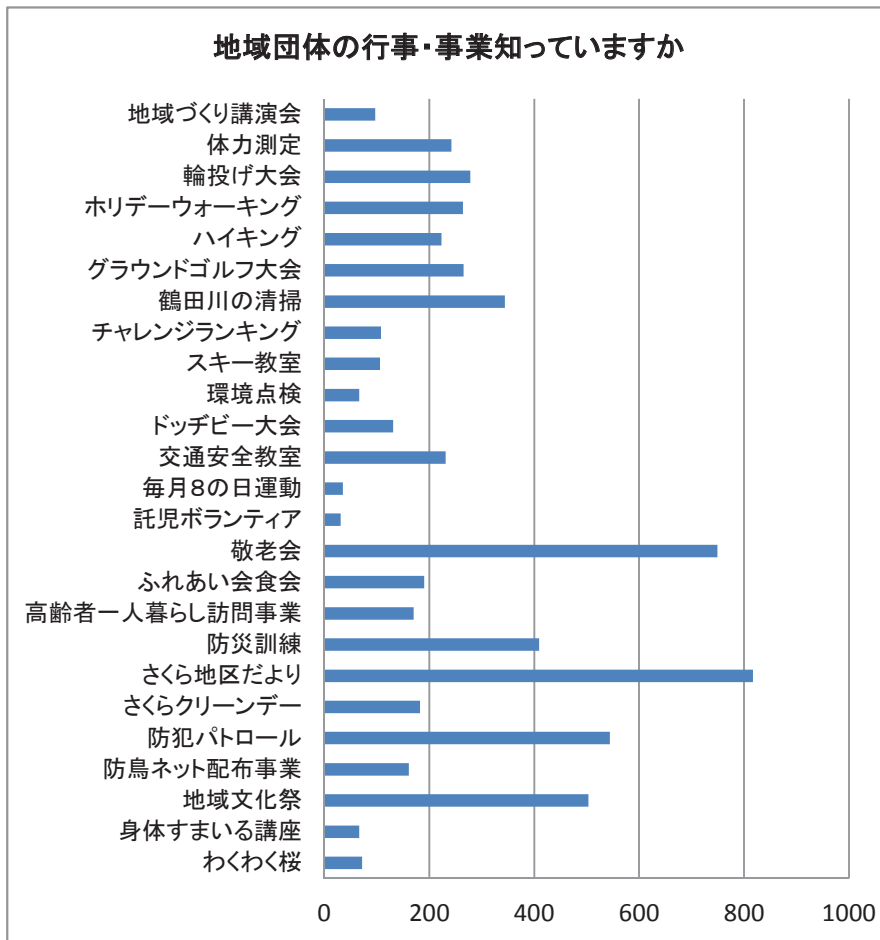


交通安全協会		
知ってる	281	
名前くらい	500	
全く知らない	124	
交通安全協会女性部		
知ってる	72	
名前くらい	333	
全く知らない	417	



問9、行事や事業知っていますか

わくわく桜	72
身体すまいる講座	66
地域文化祭	503
防鳥ネット配布事業	161
防犯パトロール	544
さくらクリーンデー	182
さくら地区だより	817
防災訓練	409
高齢者一人暮らし訪問事業	170
ふれあい会食会	190
敬老会	749
託児ボランティア	31
毎月8の日運動	35
交通安全教室	231
ドッチビー大会	131
環境点検	66
スキー教室	106
チャレンジランキング	108
鶴田川の清掃	344
グラウンドゴルフ大会	265
ハイキング	223
ホリデーウォーキング	264
輪投げ大会	278
体力測定	242
地域づくり講演会	97

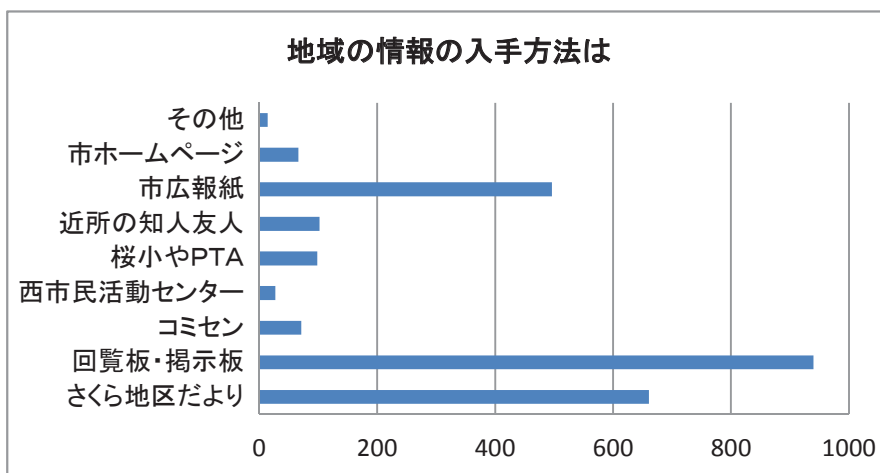


その他の知ってる事業は

- ・ふれあい日帰り旅行、新年顔合わせ会、早朝ウォーキング、おしゃべりサロン、自治会ゴルフ大会、地域探訪
- ・朝の交通安全指導(定点) ・天王祭、宮まつり参加 ・菊水祭、消防第二分団後援会

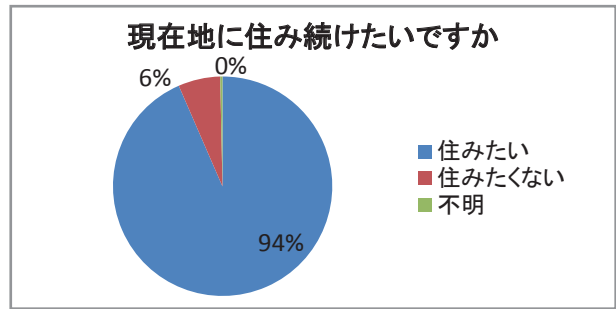
問10、地域の情報をどこで

さくら地区だより	661
回覧板・掲示板	940
コミセン	71
西市民活動センター	27
桜小やPTA	98
近所の知人友人	102
市広報紙	496
市ホームページ	66
その他	14
・うわさ	
・新聞、テレビ	
・参加している団体からの情報	



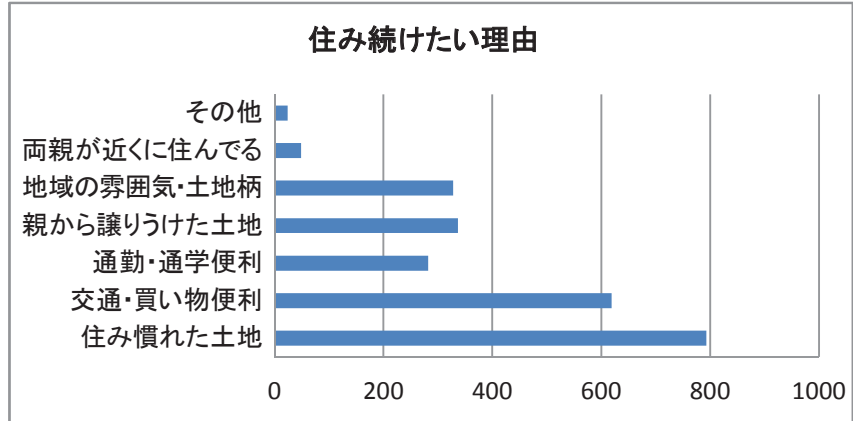
問11、現在地にずっと住みたいですか

住みたい	1,056
住みたくない	70
不明	4



問11-A 住みたい理由は

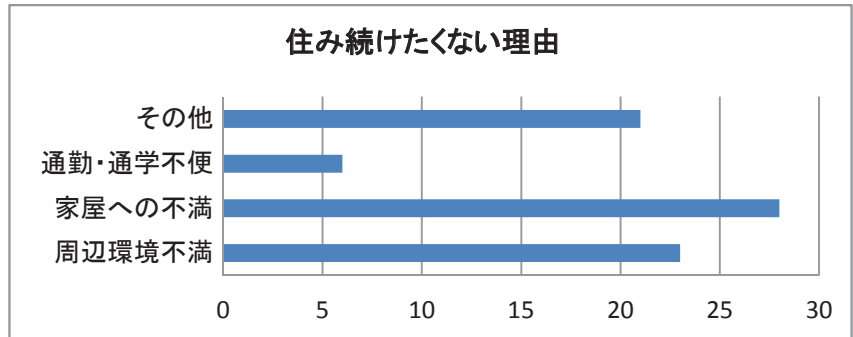
住み慣れた土地	793
交通・買い物便利	619
通勤・通学便利	282
親から譲りうけた土地	337
地域の雰囲気・土地柄	328
両親が近くに住んでる	49
その他	24



- ・自分で購入した土地建物
- ・静かだから。
- ・災害が少ない。
- ・ご近所のつきあい、人間関係がよい。
- ・親戚がすぐ近くだから。
- ・バス停が近いから。
- ・安全で安心して住める地域だと思うから。
- ・時間がゆっくりながれているので。
- ・公共の医療施設が近くにあること。自然・文教環境。
- ・駐車スペースがない、日照が悪い、が我慢です。
- ・一人暮らしの場合、いずれ他の地にと考えています。
- ・通勤等がなければ、住み続けたいところです。
- ・自営でお店をやっているが、周りの理解もありよい環境である。

問11-B 住み続けたくない理由

周辺環境不満	23
家屋への不満	28
通勤・通学不便	6
その他	21



- ・街全体(宇都宮駅前～大通り 全ての雰囲気を含む)に特徴や活力が無い。
- ・どこは決めていないし不満もないが、どこか別の所に越したい。
- ・実家から遠い。
- ・先の事はわからない。
- ・静か過ぎるから。若者が少ないから。
- ・仕事が変わるかもしれないので。
- ・他の地域(県外)にも住んでみたい。寒暖差が穏やかな所。
- ・学校が多く逆に安心して通行できないことがある(駐車、自転車走行時)。
- ・道路状況の悪いこと
- ・実家に戻るため
- ・先がない
- ・通勤で来た土地だから永住する気は全くない。車の運転マナーがひどい街だから。
- ・家族関係
- ・子供が県外在住
- ・県内に親族がいない
- ・一人暮らしの不安
- ・渡航が多く、空港近辺に移転を検討。
- ・現在ペット(犬)と別居しなくてはならない住居事情。役に立つ動物も理由なく差別意識がつよい。

問12、今後、地域で取り組んでほしいことは

- ・地区の再開発をしていただきたい。新しい街づくりにより子供が多く住む地域を目指していただきたいと思います。この最高の文教地区の最もあるべき地域の姿と思います。
- ・防犯、防災の強化。ゴミステーションの共同清掃、美化、保護。
- ・誇りが持てるよう、豊かさを感じられるよう→日常生活に工夫して欲しい。それが何かは、今は判らない。でも、このアンケートが第一歩になれば良い。

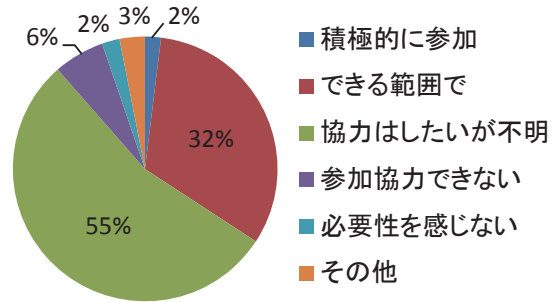
- ・空家対策の推進 ・アパート、マンションの自治会加入 ・野良猫の駆除
- ・地域で気軽に参加できる日帰りバス旅行など。
- ・子育て中のママが安心して集まれるところがあれば嬉しい。
- ・インフラ整備(道路拡幅、電線の地中化)を市や県に訴えかけること。
- ・川などの清掃。魚などの住める環境にしてほしい。
- ・地域の情報コミュニティセンターの情報(催し物、利用団体の催し物も含めて)の流れをよりよくすること。コミュニティセンターを格別の用事がなくとも気軽に訪れ、集まれる場所にする。
- ・歴史、史跡、文化財勉強会
- ・自治会の行事や活動は、増えるほどそれが負担に感じ、ますます参加したくなくなる。これらを減らすことに取り組んでほしい。回覧板を廃し(あるいは減らす)して、メールによる周知に変えてもらいたい。
- ・「桜通り」の歴史的変遷(軍道から桜通り)をふまえて、平和のシンボルロードとして、地域住民の絆の強化を図るためのイベントを計画できないか。
沿道の事業所等(銀行、学校、地方庁舎、企業等)の協力を得て、地域団体ごとの啓発活動の拠点ブースを設置して住民や道路利用者による手作りのイベントができないものか。
《範囲は、鹿沼街道から桜並木ここにありきの碑まで》 兵士の通る道から、学生の通る道へ!!
- ・夜暗い道が多く防犯面に心配がある。夜中に歩行者も多いので、街灯等の設置をお願いしたい。
- ・自治会がなく夏休みのプールにも子どもは入れない。また他の自治会が何をしているのか行事なども分からず、近所でお祭等をやっているにもかかわらず参加(子どもも)出来ない。少子化の今、自治会を問わず近隣の子どもが参加できるような組織作りを望む。
- ・学生の通学時マナーの悪さが気になります(自転車)。地域として学校へ改善するよう申し入れを。
- ・広報、告知活動を継続してください。同地域に暮らす時間が悪くなければ、いろいろな行事などに参加したいです。
- ・気軽に参加できる住民同士の交流会など。
- ・防犯カメラの設置をお願いします。
- ・自治会員は全戸加入するような魅力あるものにする。一回覧板の手渡し、会の催しでコミを図る。子ども会の育成、交通、健康、困りごと、災害対応、その他協力しあえるまちづくり。
桜地区全体で行う行事—皆さん健康づくりなど考えております。趣味の会、その他小さい集まりごとを多く設けて、呼びかけを行うとよい。輪投げ・グラウンドゴルフ・ホリデーウォーキング・ハイキングなど良い例で、地域内に呼びかけ、意識を高める行事を望みます。
文化祭の展示は2日間とする。文化祭と健康の集いを合わせた行事(ゲートボール、凧揚げ、綱引き)
- ・すぐれた技術や特技を持っている人を発掘して、地域の事業に参加してもらえるとよいと思う。
- ・孤独な高齢者が多い時代に、①老人が気楽に集える場所がない。②自治会に老人会がない。③隣近所の付き合いがゼロに近い。などは、大きな問題であり、寂しい限り。
④自治会が市の一斉清掃にも取り組もうとしない現状では、何の地域活動も生まれない。
- ・人・車椅子・乳母車・自転車にやさしい道作りを。現在、施設と幹線道路はあるが、歩道が少ない。登下校の自転車が走りにくそう。住宅地区に道路整備を進めて欲しいので、そのチェック団体を作ること。
- ・桜地区、他地区との子供交流会(友達づくり)
- ・子どもを交えた、地域の清掃活動
- ・退職後の男性のお付き合いの場を作ること。飲み会など。
- ・お住まいが一人で高齢で、地域のことや班長さんも出来ない方が多くなり、回覧板を回すのも大変になってきています。どのようにしたらよいか、取り組んでほしい。
- ・最近マンションが増え、新しい住民が多くなっています。自治会に入会していただくことは勿論ですが、元から住んでいる人達と新住人の方々が、ともに楽しめ、親睦を図れる行事を企画できたらよいのでは。
- ・近くの公園などの清掃作業をもう少し徹底してほしい。特に砂場など、現状はガラスの破片や動物の糞、タバコの吸い殻やゴミがまざり、子供を遊ばせる安心感が低い。
- ・老人の健康のためにも、グラウンドゴルフだけではなく誰にでも出来て楽しい集いはないものではないでしょうか。
- ・コミセンや西生涯のような気軽に立ち寄れる場所が欲しい。
- ・地域自治会、まちづくり協議会の役員若返りがいいと思う。
- ・防火、防災パトロールの強化・・・自治会役員によるパトロールはたまに見られるが、警察官の巡視を多くお願いしたい。
- ・環境点検を通じて市と協力し、「きれいな街づくり、安全な街づくり」に力を入れて下さい。そのためには、空家や公園の整備や空地(荒地)の有効利用なども含めた防災のあり方を検討して欲しい。連帯意識を高めるための行事なども工夫して欲しいです。
- ・地域住民による地域の高齢者のための支援システム(現在も民生委員等による高齢者見守りのシステムはあるが、近隣の方々による支援システムをもう少し充実してほしい)。
文化活動 — 博物館・美術館を活用した活動や音楽活動など
行事・イベント面では、地域活動も必要だが、以前に個体(各集合住宅)の活動の活性化
- ・子供が参加できる行事(小学生以下の子も親子で楽しめるようなもの)
- ・青少年のコミュニケーションを育成する活動

問13、まちづくり計画に沿った活動への参加協力は

積極的に参加	21
できる範囲で	355
協力はしたいが不明	597
参加協力できない	68
必要性を感じない	24
その他	34

- ・ケースバイケース
- ・具体的なメリットがあれば考えたい。
- ・アンケート程度なら協力可
- ・参加の出来ぬ状況
- ・高齢のため ・健康不安
- ・内容次第 ・介護中のため
- ・多忙につき参加は困難と思われます。
- ・行事や事業の一員として加わるのではなく、自然な形で地域の環境を良くする行動をしたいです。近隣の方々とも良好な繋がりを保ちたいです。

まちづくり計画に沿った活動への参加協力は

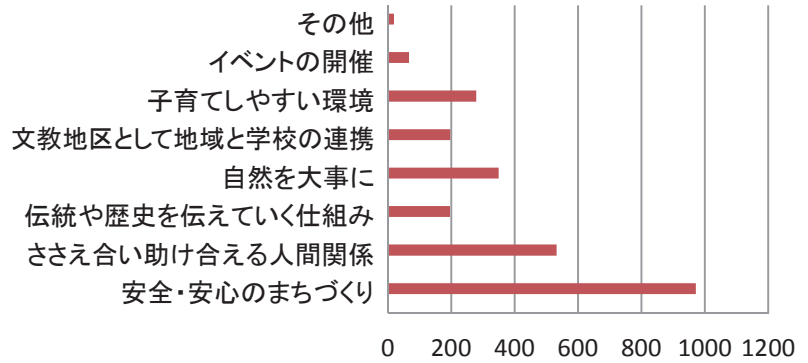


問14、地域まちづくり計画に望むところは

安全・安心のまちづくり	972
ささえ合い助け合える人間関係	533
伝統や歴史を伝えていく仕組み	196
自然を大事に	350
文教地区として地域と学校の連携	197
子育てしやすい環境	279
イベントの開催	67
その他	19

- ・高層の建物を少なくし、日当たりの良い地域となり続けることを望みます。
- ・地域の再開発と記入されたもの
- ・住環境を良くする。
- ・大人が楽しく生活できる街づくり
子供は大人を見て育つから、子供より大人を重要視するべきと考える。
- ・商店街の充実(人通りがない) ・交通(外出や買い物など)の便利な地域まちづくり
- ・高齢者の多いまちに住みたくない。
- ・宇都宮市の施策にマッチしたまちづくり
- ・高齢化社会となり、困った時に助け合える人間関係

まちづくり計画に望むことは



アンケート全体について、また桜地域について気づいた点を書いてください。

- ・マンション・アパートなど、自治会に入らない方が増加していると聞きます。昔のように、組内・子ども会・町内会という慣れ親しんだ名称を復活させたら、いかがでしょうか？‘自治会’というと、どうも、なじめない。
- ・環境保全やまち並みの美化に力を入れて欲しい。
- ・問4に書いていたが、現在大寛3丁目付近を流れる新川から東の地域は、ほとんどの小学生は西原小、西小に通学しており、桜小への児童はほとんどいない。このような状況で、地域の諸行事(文化祭、防災、ハイキング等々)には、小学生が不参加者が多い。これは「まちづくり計画の策定」には、大きな課題である。現状では保護者、子どもを参加させることは出来ないのではないのか。「まちづくり計画」の中で、いかに参加させ、地域のコミュニティを図るか期待している。
- ・住み良い地域づくり活動に参加協力し、安心安全なまちづくりに貢献したいと思います。
- ・軍都としての街のにぎわいの旗頭であった頃の人の足がこの地域に向かっていて、その魅力を掘り起こし、企業・学校等に地域活動の参加を依頼する。
- ・歩きやすい道路を。特に自転車走行時には、各種工事跡ででこぼこ道路がある。
- ・地域に連帯感があると、助け合いは自然にできると思うので少子化の現状から、新しい近所付き合いの仕組みづくりが欲しい。
- ・地域が東西に長いので、集まるのに不便なときがある。
- ・他の自治会の活動がよくわからない。
- ・大きな看板が多い。→美的問題

- ・自転車対策→一時停止なし、集団走行でスピードもあり怖い。自転車道をマーク付けして欲しい。
- ・買物のしやすい仕組みが欲しい。
- ・ある一定の人ばかりでなく、多くの人達が集まれるような催しをしてほしいと思います。上に立つ人が多く人を誘い合い、協力すればコミュニケーションも出来ると思います。よろしくお願いします。
- ・会が多すぎると感じた。
- ・小生は昭和16年に現在居住で生活し、75年が過ぎ、この地区に親しみがあり、又各自治会の方達が一生懸命活躍されており感謝しています。桜地域ビジョン策定委員会が発足し力強いかがりです。高齢者が増え、空家の増加傾向は今後も増えてくると思います。安全、安心の環境づくりは地区だけの力では難しい問題ですが、行政側との協議が必要になると思います。
- ・住み始めてまだ日が浅いが、桜地域の住民の民度が高いように感じるので、この雰囲気は損なわれなくて欲しい。高齢者、共働き世帯向けのお弁当、惣菜店、軽食店などがあると便利に思う。栃木県立美術館分館に、犯罪被害者支援センターがある。桜地域で得た収益の一部を寄付するなど、社会貢献ができたと思う。
- ・高齢化、核家族化、少子化、様々な家庭環境がある中で無理のない自治会の参加運営をお願いしたいです。(現在のところ、負担感はありませんが、今後の為にかかせて頂きました)
- ・アンケートの中に桜地区のイベントが多く行われていることが書かれてあったが、ほとんど知らないものが多かった。こうした取り組みをもっと知らせる必要もあるし、もっと意欲的に参加したいと思うようなイベントに変えていく必要があると思う。
- ・今回のアンケートにより、初めて知った活動や行事などが多数ありました。今後は意欲的に地域のことを考えるようにしなくては・・・と思いました。
- ・桜地域全体として活動しているように全くみえないのが残念。古くからいる人達だけの活動のように思われる。新しく移転してきたものからみて、活動は全く分からない。
- ・人と人が自然にささえ合い、さりげない見守りができる安心安全な地域になり続けてほしいです。よろしく。
- ・今のところ安心して暮らせて気に入っています。
- ・このアンケートで、桜地域にたくさんの団体があること、そして行事や事業が行われている事を知りました。ただこのような企画に加わらない事が、まちづくりに非協力的となってしまうのが心配になりました。私のいまの思いは「住んで生活をする」この事にあまり肩肘を張りたく無いです。ゆったりと自分なりに、そして周囲に迷惑をかけないように過ごしていきたいです。問11は、少し設問が極端で好きではありませんでした。
- ・昔は隣近所の家族構成やご主人の勤め先やら何でも分かっていたが現在は全然分からない。小さい子がいなくとも遊びに来た子もいたのに。その子がどんなに成長したかと考えている。個々での生活を守っている現在がよいのだろうか。
- ・後期高齢者数の桜地区人口に占める比率が、比較的高い方にあると2~3年前に聞きました。意欲はあっても高齢者自体は、体力的に参加困難な人もいます。それらの人々の助けになる活動は高齢化社会の進展に伴い、ますます必要になると思います。介護が必要となる人、それは徐々に到来するときもありますが、ある日突然に起こることもあるのです。最近そういう世帯の一つを助けました。このための助け合い組織とまでいなくても、話し合いの場でもよい。またその指導のできる人(コーディネーターとしてあちこちの連絡をとれる人)が居ればなお良い。そういう人を地域に育てていきたい。少しずつ前進しましょう。
- ・各地域団体の長のご苦労は十分に察しているつもりだが、予算消化のための一発的な行事(旅行など)しか行わず、日常活動による啓発がもっと必要ではないかと思われる。市行政の末端下請け的な団体については、見直しが必要であろう。市行政に対して物を言う団体であるべきだ。ただ以前は訳のわからない団体だった「桜地区社会福祉協議会」が、最近はやややく他地区にみられるような筋の通った活動を展開しておられることに、敬意を表し、感謝しております。
- ・桜地域は、比較的に安全で安心して住めるまちだと思います。この状態が続くことを願います。
- ・地域のまちづくりの基本は、各自治会のまちづくりにあると思います。各自治会が問14の内容を目指すまちづくりを活発にすることです。そのためには、
 - 1、各自治会が会長や役員を中心に、年間どんな活動をしたらよいか計画を立案し実践し、反省し改善する。
 - 2、各自治会の活動を情報交換し合い、他自治会の活動を参考にして各自治会の活動に活かす。このような場合は、自治会連合会やまちづくり協議会の会合にあると思います。
 - 3、1や2が日頃十分になされ、各自治会が生き生きと活動することにより、桜地域全体に関わる行事への参加者も多くなると思います。自治会の会員同士が絆を深めることにより、例えば、体協のハイキングにも「いっしょに参加しよう」と声をかけ合うようになると思います。
 ささやかな提案ですが、実現できることを願っております。
- ・育児中のため、地域の行事や活動に参加できなくて心苦しく感じています。地域活性化のためにもいずれ参加したいと考えております。よろしくお願いします。
- ・桜コミセンの行事予定表が回覧板でみる事ができたら、「これは参加したい」と思う事ができ、予定を立てられるので「桜地区だより」のようなものがあつたらいいと思う。桜コミセンにはなかなか行くチャンスがないし、どうなっているのかもわからない。
- ・ご近所を見ても高齢者が多く、学生がいるお宅はほとんどなく、10年後地域活動がどのようになるのか心配です。
- ・桜地域は、歴史・伝統・環境に恵まれた文教地区であるとともに、安全で安心して生活できる居住地域としてまちづくりをすすめてほしいと思います。

- ・‘あいさつ’をする。私の前の道を通る方には必ず声をかけて、朝は子ども達から出勤する方などだんだん交わすようになります。近所の方向士では望まれています。‘地域のスローガン’としたいものです。
- ・子育てしやすい環境を望みます。
- ・住みやすくやさしい町だと感じております。自分自身が行事に参加できるように努力したいです。心を込めたまちづくりに感謝しております。
- ・①自治会が積極的に活動すること。回覧板を回すだけでは、消極過ぎる。
- ・②募金を自治会としてまとめて支出し、個人支出しないのもいかなものか。
- ・③自治会の役員会を増やし、新年会を開催し、老人会活動などの企画や推進を図るべき。現状では、自治会の活動は、無に等しい。
- ・南・中一の沢は、戦後、農地から転じた道幅の狭い住宅地で、高齢者が多く住んでいる。文教の地、といえ生活と関わりなく、幹線道路の抜け道として車の通りは多い。
 - 子育て層を呼び込むためにも、地域内の道路整備を望む。
 - 老年者を自宅から呼び出せる集会所を作ってほしい。
- ・桜地域は、住み慣れた場所であり環境によいとも暮らしやすい地域だと思います。今後も、暮らしやすい桜地域であるために、自分でも協力できることは実行していくつもりです。安全で安心して住めるまちづくりに向けて、一人ひとりが意識をもって生活していくことが大切だと感じています。現在、まちづくりのために関わっている役員の方々に感謝しています。ありがとうございます。地域の方々が、お互いに支え合い、助け合える人間関係を築いていける桜地域づくりを強く望んでいます。
- ・まだ仕事をしているので、地域行事等に参加できないけど、引退したら積極的に参加してゆきたい。
- ・私は、ここに住んでまだ3年なので、深くこの地域のことをわかっているわけではありませんが、桜地域は、恵まれていると思います。ずっと住み続けられれば、よいなと思います。
 - しいて、望むことは、○美術館、博物館、公園等公共のものが多くの人々、子どもにもっと活用できたらと思います。あまり来ている人は、多いとはいえません。地域の方は特に、いつ行っても入れるとか、イベントに場所を提供していただけるとか。○子供が外で遊ぶ姿を見ませんね。子供が安心して遊べる地域になれば、いろいろな問題は、なくなるのではないのでしょうか。
- ・地域コミュニティの問題 — 若者の減少と高齢化という人口問題が将来の課題ですが、地域においては、昔から住んでいた地域の人達(旧住民)と地域振興などで新たにマンションなど宇都宮市外から移住されてきた(新市民、新住民)人達の交流をどうつなげていくか。また、若い人達のコミュニティ参加の方法(リーダー養成を含めて)。地域活動が必要だと思います(ソフトの問題)。
- ・都市づくりと桜地域の将来像を明確に。 — 文教地区という特性を活かすこと。道路交通計画(LRT問題を含む)都市づくりはどう変わっていくのか、その対応も知りたいものです。各種事業は、市の関連事業か桜地域の独自事業かよくわかりませんでした。
- ・回覧掲示場所が欲しい。集まりやすい場所が(コミセン、西生涯では遠い)ない。
- ・私は転入後3年になりますが、他の地区では比較的役員さんだけが動いている傾向が強いが、当地区は全般的に地域活動が積極的に思われる。
- ・子ども会の数が減っていることを危惧しています。子ども会運営に係る親の負担を極力少なくして、できるだけ、子ども達のために子ども会活動を少しでもできるようにすると良いと思います。子ども会活動は、地域活動の基礎なのではないかと思えます。
- ・郡部地域及び他市町村地域との交流と協力。山・川・遊休田畑などの利用・活用提携。

桜地域ビジョン策定委員名簿

役職	氏名	所属団体等名称	備考	
1	委員長	大場 恒夫	桜地区老人クラブ連合会	
2	副委員長	大貫 裕	桜地区自治会連合会	
3		高齋 吉明	桜地区民生委員児童委員協議会	
4		山口かよ子	桜地域まちづくり協議会	
5	委員	入江 宏一	桜地区社会福祉協議会	
6		安納ハツエ	さくら女性の会	
7		黒田 暎一	桜地区民生委員児童委員協議会	
8		福田 光子	さくら女性の会	
9		小林 純枝	桜地区体育協会	
10		大久保 昭	中央交通安全協会桜支部	
11		太田 晃代	桜婦人防火クラブ	
12		長谷川俊夫	桜地区自治会連合会	
13		蓑輪 律子	桜地区交通安全推進協議会	
14		鈴木 忠男	鶴田川をきれいにする会	
15		高橋 克知	桜地区青少年育成会	
16		日渡 正文	桜地域まちづくり協議会	平成28年3月まで
17		小川 亨一	西市民活動センター	
18		事務局長	森田 明美	桜地域コミュニティセンター

事務局	阿久津浩幸	西市民活動センター	平成28年4月から
事務局	滝沢 明弘	西市民活動センター	平成28年3月まで

桜地域ビジョン

発行年月日 平成29年3月30日

発 行 者 桜地域まちづくり協議会
(桜地域ビジョン策定委員会)

事務局・桜地域コミュニティセンター内
電話 028-636-2007

印 刷 所 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷



開発が進む桜地区中心部